



# 平和・くらし風土記 22

## 郵産労新局支部

### 要求実現で多数派めざす

戦後の労働運動の中で、官公労として国労と共に大きな役割を担ってきた全通は、1980年の社公合意（共産党を除く政権構想）以来、右翼的再編に組み込まれました。

83年社会党（当時）への選挙資金カンパの強制に抗議すると、全通本部は執行権停止、除名、権利停止などの制裁を加えてきました、そこで自覚的労働者は全通と決別して東京中央郵便局労働組合を結成、後に郵産労と組織統一しました。

90年現在地に移転して、1550人いた正規職員は1100人に減り、1600人の「ゆうメイト」がパート労働で24時間フル稼働しています。最近も深夜勤の直後、労働者がロッカー室で倒れ息を引き取りました。いま裁判で係争中ですが、裁判官が異例の現地視察を行っています。



10月の民営化の前に全国で1048局が集配業務を廃止、局外ATMは600台も撤去されました。秒単位の作業と人減らし合理化で、公共サービスの後退と労働条件悪化が同時に進行しています。

連合系の全通と全郵政は民営化を機に組織統合して「生産性向上の運動」で労働強化を推進する立場ですが、郵産労は郵政事業の公共性をふまえて労働者のくらしや権利を守る活動を堅持しています。80年代の国鉄民営化の時とは異なり、少数派とはいえ「既得の労働条件の継続」を認めさせ、要求運動では多数派と自任しています。

# 「日本の青空」上映の成功を 大澤豊監督と語るつどい



10月5日夜カメリアプラザにおいて「日本の青空」上映江東実行委が主催する「大澤豊監督と語るつどい」が開催されました。冒頭の挨拶で山田利尚実行委員長は、江東区への後援の要請に対して「政治的中立」を理由に電話で断ってきいた総務課長に、文書による回答を要求したこと。一方読売新聞販売店からはチラシ折り込みを無料にするという申し出があったことを紹介し、上映運動の成功を訴えました。

### 大澤監督のお話の要旨

#### 丸腰でこそ人道支援ができる

アフガニスタンは千バツで農作物がとれない上に、戦争で破壊つくされていま。地雷や砲撃で手足をものがれた人々や孤児たちの物売りなど、終戦直後の日本と同じです。ボランティアは常に丸腰で活動します。勇気はあるがそれしか身を守る方法がないのです。

### 映画づくりも 九条守る運動

無一文から出発して章の根の力、資金を集めました。だからつまらないものを作ったら大変です。当時の日本人が戦争はコリゴリだという気持ちで、いまの憲法をつくりあげたことをわかってほしい一心でした。映画づくりも上映運動も九条守る力になるとがんばってききましたが、寄せられてきた多くの感想文に接してホッとしています。

### 平和は待っていない ではこない

苦労したのは九条の原型になる資料がなかったことです。鈴木安蔵は高知で植

木枝盛の軍備を持たない民主主義の国づくりの持論に通じていたと思うが、通説では格原大臣が天皇制維持と引き換えに、戦力不保持をいじだした事になっていきます。いずれにしてもボツダム宣言を履行して軍隊を解体、戦争を放棄し、世界にさきがけて平和をかちとる日本人の決意を示すものとして、国内外で圧倒的に支持されました。

### 前売り券の普及にご協力ください

問い合わせ先  
事務局TEL・FAX  
(5836) 6373  
券は江東地区委員会でも扱っています

## 横綱白鵬の刻名式



不知火型土俵入り

10月4日午前10時すぎ、富岡八幡宮本殿の前は時ならずマスコミ関係者や人波で埋まりはじめました。1684年から150年間勤進相撲の興行がおこなわれた境内には、1895年に横綱力士碑が建立されています。

### 10・11月の行事案内

- 23日（火）18時半、東京大気汚染和解報告集会、総合区民センター（2500円）
- 25日（木）10時から3回、映画「日本の青空」上映、カメリアプラザ
- 「後期高齢者医療制度」学習会、27日（土）19時、森下文化センター
- 28日（日）14時、古石場文化センター
- 11月9日（金）18時半、江東区労働第25回秋の学習講座、カメリアプラザ
- 11月14日（火）18時半、マンシヨン相談会、東大島文化センター
- 11月17日（土）13時半、「平和のつどい」、主催、実行委員会、砂町文化センター
- 11月18日（日）10時、江東民商工まつり、江東文化センター



この日は歴代横綱と並んで69代横綱白鵬の刻名の儀が行われました。その最後に、日本相撲協会北の湖理事長ら役員が見守るなかで、華麗な奉納土俵入りが披露され、取りまく多くの観衆から掛け声が飛び交っていました。